
2022年度第2回 スキルアップミーティング

(2023年2月16日開催)

報告

2023-3-14

SA協議会SA部会

関東WG: 藤井、吉川、青野、山岸、藍原

事務局: 井上、外山、塩見

スキルアップミーティング(以後,SUM)報告項目

1. 開催計画(関東WGメンバーにて計画運営を実施)

2. SUM参加者

3. 当日の内容報告

4. 参加者アンケート結果

* 講演資料は別PDFファイルを参照

(ファイルは、会員専用ページ「スキルアップミーティング」を参照)

1. SUM開催計画

開催概要【 関東WG主催 】

●SUMテーマ「機械安全実践」

●開催日時：2023年(令和5年)2月16日(木) 13時30分～16時30分

●開催内容：講演及び質疑応答

●開催場所：ZOOMウェビナ

●定員：500名様 ●参加費：無料

●申込締切日：2023年1月13日

【プログラム】

受付:13:00 ZOOMウェビナオープン

開会:13:30 終了:16:30

13:30 ～ 開会

13:35 ～ 挨拶 SA協議会会長 向殿政男 明治大学名誉教授

13:50 ～ 挨拶 SA協議会SA部会 会長大賀 公二様

13:55 ～ 講演1 2021年度向殿安全賞受賞企業 旭化成(株)様 講演

14:50 ～ 講演2 「リスクアセスメント事例」 芝浦機械(株)様 講演

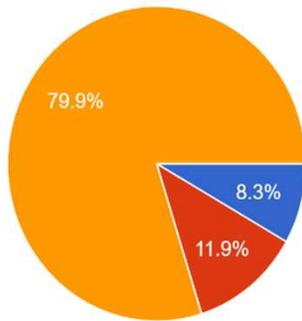
16:05 ～ 事務局連絡

2. 参加者結果

参加希望者

東京 704名

貴社の従業員数は？
303件の回答

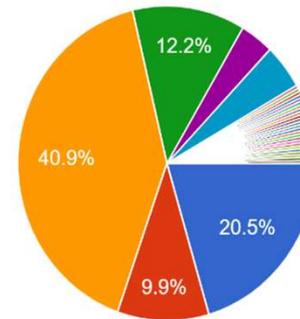


当日参加者

東京 538名

貴社の業種はどれに最も近いですか？
303件の回答

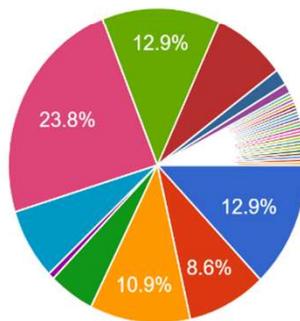
- 100人未
- 100~29
- 300人以上



- 機械メーカー=製品として機械を製造 例...
- インテグレータ=機械を統合してライ...
- 機械ユーザ=設備として機械を使用 例...
- 制御機器メーカー=制御機器を製品とし...
- 商社
- エンジニアリング
- 輸入車販売・整備

▲ 1/4 ▼

貴方の職種はどれが最も近いですか？
303件の回答



- メカ設計
- 電気設計
- 制御設計
- 仕様発注
- 据付、保守サービス(機械メーカーとして)
- オペレータ、保全(機械ユーザとして)
- 品質保証、環境安全、設備防災
- 営業、技術サポート

▲ 1/5 ▼

SUM参加者状況詳細

時間	内容	参加者
13:30 ~ 13:35	開会挨拶 SA協議会・SA部会 副部会長 藤井様	498
13:35 ~ 13:50	SA協議会 会長挨拶 向殿 政男様	513
13:50 ~ 13:55	SA協議会・SA部会長挨拶 大賀 公二様	521
13:55 ~ 14:25	講演① 2021年度向殿安全賞受賞企業様 講演 「既存設備の機械安全活動 ～延岡支社における既設設備の機械安全対策推進と人財育成」 旭化成株式会社 延岡支社 環境安全部 安全衛生担当 豊丸 優子様	538
14:25 ~ 14:40	質疑応答	535
14:40 ~ 14:50	休憩	
14:50 ~ 15:35	講演② リスクアセスメント事例紹介 「リスクアセスメント事例 ～AGV－シャッター連携システムのリスクアセスメント」 芝浦機械株式会社 生産センター 生産企画部 主幹 青野 竜二様	535
15:35 ~ 15:50	パネルディスカッション エスプロエンジニアリング 労働安全コンサルタント 西山 政則様 ジック(株) セーフティリードアセッサ 藤田 拓磨様 オムロン(株) ロボットセーフティアセッサ 片畑 隆敏様	520
15:50 ~ 16:05	質疑応答	491
16:05 ~ 16:15	事務局情報提供	490
16:15 ~ 16:20	クローズ	483

3. 内容報告

スキルアップミーティング式次第

13:00 ~ ZOOMオープン

13:30 ~ 開会(諸注意事項とお願い)

13:35 ~ 挨拶 SA協議会会長 向殿政男 明治大学名誉教授

13:50 ~ 挨拶 SA部会 会長 大賀 公二様

13:55 ~ 講演1 2021年度向殿安全賞受賞企業 旭化成(株) 豊丸 優子様

14:50 ~ 講演2 リスクアセスメント事例 芝浦機械(株) 青野 竜二様

パネルディスカッション

エスプロエンジニアリング 労働安全コンサルタント 西山 政則様

ジック(株) セーフティリードアセッサ 藤田 拓磨様

オムロン(株) ロボットセーフティアセッサ 片畑 隆敏様

16:10 ~ 事務局からの連絡



司会;藤井氏

3. 内容報告

(1) 挨拶① (ビデオメッセージ)

(ご挨拶資料は、SA協議会SA部会

向殿 政男 明治大学名誉教授(SA協議会会長) 会員ページに掲示予定)



『私が歩んでいる安全の分野と現時点でのホットな取り組み』と題されたご挨拶を頂きました。内容は次の通り。

- ・スキルアップミーティング (SUM) の意義
- ・私が歩んでいる安全の道 (安全学)
- ・安全は、社会を明るくする誇りある仕事
- ・ウェルビーイングについて
- ・労働安全衛生について

(2) 挨拶②

SA部会 会長 大賀 公二様

自己紹介の後、SA部会の位置づけ並びに活動目的をご説明頂いた。

新たな安全への知見の獲得と共有へのご協力、WGへの参画募集、並びに今回の限られた時間での積極的な議論参加を依頼した。



3. 内容報告

(3) 講演1

2021年度向殿安全賞受賞企業様 講演

「既存設備の機械安全活動

～延岡支社における既設設備の機械安全対策推進と人財育成」

旭化成株式会社 延岡支社 環境安全部 安全衛生担当 豊丸 優子様

(講演資料は、SA協議会SA部会
会員ページに掲示予定)

●ご講演 以下のポイントのプレゼンがあった。

1. 旭化成株式会社 延岡支社の紹介
2. 既存設備の機械安全対策推進と人財育成
 - ・これまでの機械安全活動<経緯>
 - ・課題と課題の前に立ちはだかる大きな壁について
 - ・新たな取り組みの開始について
 - ・人材育成について
 - ・既存設備の機械安全活動のまとめ
 - ・既存設備の機械RAとリスク低減方策の進捗
 - ・まとめ
3. SA資格者への期待



3. 内容報告

(4) 講演2

リスクアセスメント事例紹介

「リスクアセスメント事例

～AGVーシャッター連携システムのリスクアセスメント」

芝浦機械株式会社 生産センター 生産企画部 主幹 青野 竜二様

(講演資料は、SA協議会SA部会
会員ページに掲示予定)

●ご講演 以下のポイントのプレゼンがあった。

1. 自己紹介
2. 会社紹介
3. 対象システムの概要
 - ①実際の動作の様子
 - ②対象部位説明
 - ③対象システムの制御について
 - ④機械類の制限について
 - ⑤リスクアセスメント実施上の制限について
4. 本リスクアセスメントの進め方
 - ①本RA事例報告までの経緯
 - ②ワークショップメンバーのご紹介
5. 危険源の同定～リスク評価
6. リスク低減方策と再リスク評価
7. リスク低減方策のまとめ
8. 考察



3. 内容報告

(5) 講演2 リスクアセスメント参加者パネルディスカッション

エスプロエンジニアリング 労働安全コンサルタント 西山 政則様

ジック(株) セーフティリードアセッサ 藤田 拓磨様

オムロン(株) ロボットセーフティアセッサ 片畑 隆敏様

(講演資料は、SA協議会SA部会
会員ページに掲示予定)



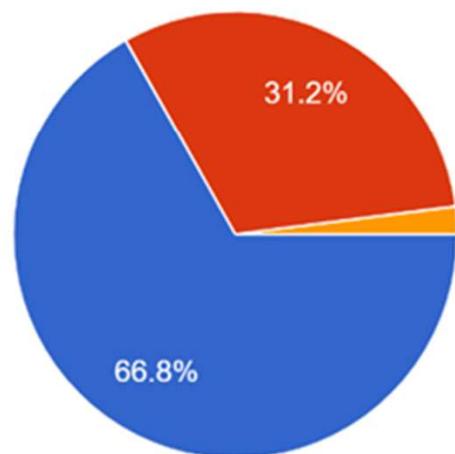
●講演2のリスクアセスメントに参加された3名の方から、以下のタイトルでRAに参加してのコメントが紹介された。

1. 西山様 「AGVリスクアセスメントの考察—危険源同定—」
2. 藤田様 「AGVシャッター連携システムのリスクアセスメントについての所感」
3. 片畑様 「パネルディスカッション」

3. 内容報告 講演アンケート結果

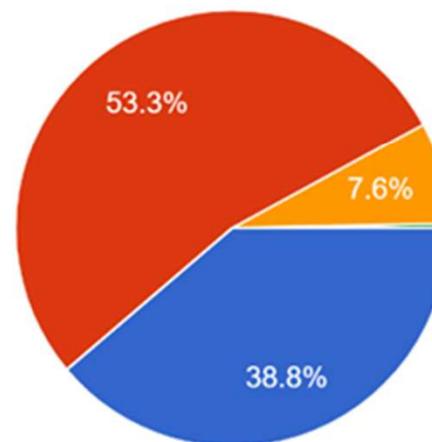
本日の講演1はどうでしたか？

301 件の回答



本日の講演2はどうでしたか？

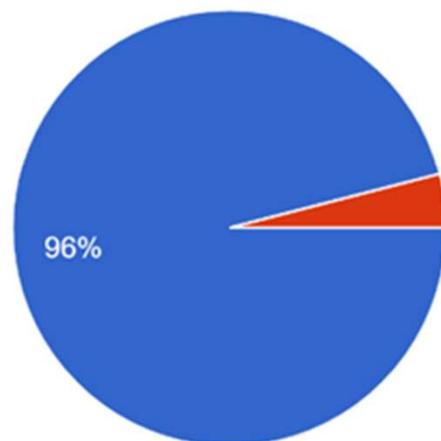
304 件の回答



- 満足
- やや満足
- やや不満
- 不満

今回はスキルアップできましたか？

302 件の回答



- できた
- できなかった

(1) 成果について

今回のSUMは、「機械安全実践」とした中、次のような結果を得て、今回の開催はスキルアップの効果を上げ、成功であった。

- ・アンケートのスキルアップできたかの問いに対し、**96%の方ができたとの回答**を頂いた。
- ・その他アンケート自由意見でも次のような結果が出ており、好評であった。
 - ・講演①に対し139件、講演②に対し、126件の多くの意見が出され、非常に参考になったなどの肯定的な意見が多かった。
 - ・SA協議会への意見(106件)の中でも、今回の開催内容に対して大変参考になったとのコメントが多かった。

(2) 講演について

- ・講演1は、アンケートで「やや満足」以上が98%、講演2は、同92%と高い数値を示し、両講演とも多くの参加者の満足するものとなった。
- ・質疑応答については、チャットでの質問形式となり、取り上げるのも時間制約で短時間となり、改善の余地あり。

(3) WEB開催について

- ・今回は、昨年に引き続きコロナウイルスの影響により、WEB(ZOOMウエビナ)を利用しての開催となった。WEB開催は、アンケートにもある通り広く受け入れられ好評である。
- ・今回もWEBということで地域性も考慮不要のため、704名の申し込み。(昨年より大幅増)
当日の参加は、ピーク時538名(WEB接続者)で申し込みとの差があったが、参加者の中には、企業内会議室での複数名で参加されており、出入りを含め550名超の方が参加したと思われる。
- ・受講者への会議招待メールにてWEB参加アクセスURLを事前送付しての接続は、混乱はなかった。リモート普及で関係者がなじんでいるものと思われる。

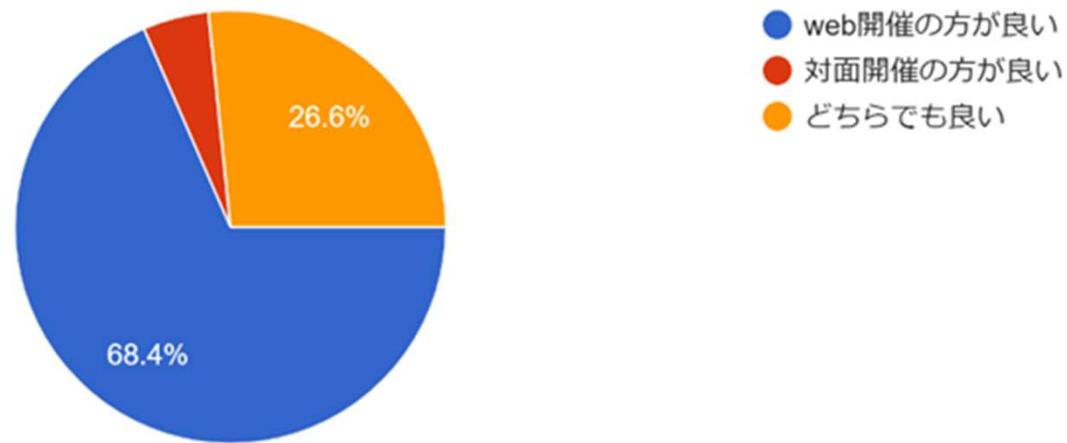
(4) その他

- ・WGとして、初の「RA支援Workshop」の取り組みを行い、発表では好評を得た。
- ・SA会員数の増加: 今回のSUM開催で254名の会員増。
- ・リスクアセスメント支援に関し、他地区WGメンバーとの初コラボレーションを実現。
リスクアセスメントWorkshopで中部WGから3名の参加。

5. その他 アンケート結果1

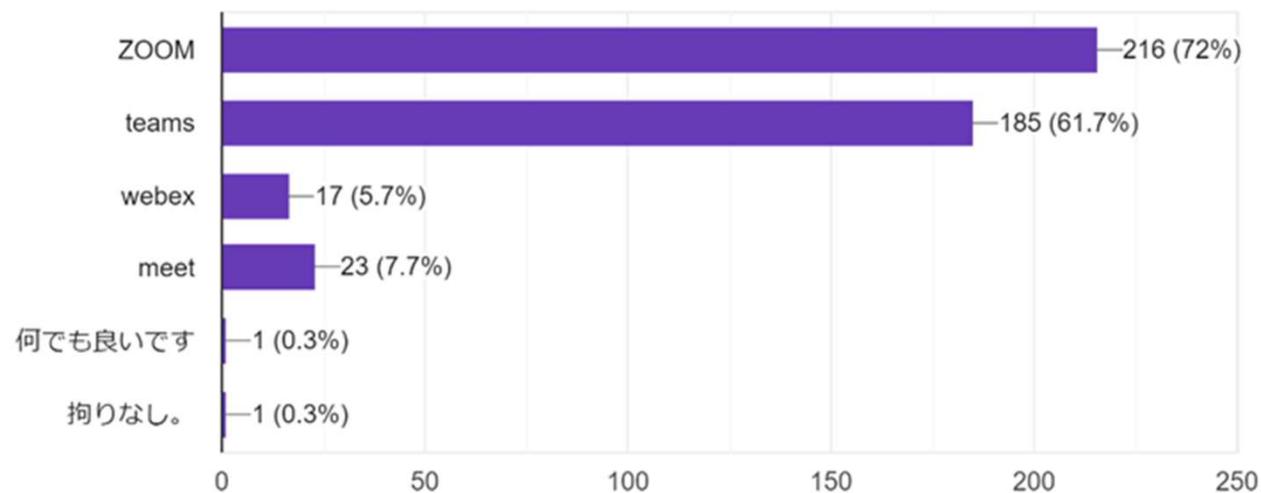
web開催はどうだったでしょうか？

304 件の回答



web会議のツールは何が良いですか？

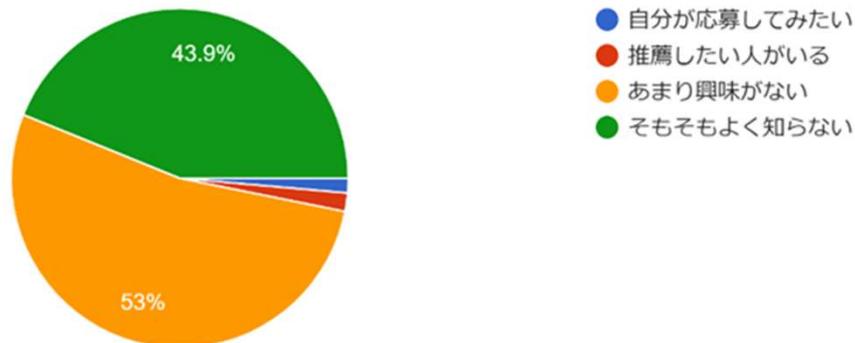
300 件の回答



5. その他 アンケート結果2

向殿安全賞に個人として？

287 件の回答



向殿安全賞に企業として？

287 件の回答



Safety2.0認証について

285 件の回答

